

SHINSEI

環境活動レポート  
2016

ecoaction a  
report

2016.2 ~  
2017.1

発行:2017.4.11

# 目 次

1.	環境方針	.....3P
2.	環境保全への行動指針	.....4P
3.	組織の概要	.....5・6P
4.	環境目標と実績	.....7・8P
5.	社内での環境に関するニュース	.....9P
6.	環境活動計画の取組み結果とその評価、 及び次年度の取組み	...10・11P
7.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果ならびに違反・訴訟などの有無	.....12P
8.	業界の動向	.....13P
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	.....14P

## 1.環境方針

温暖化による次の世代の生活環境の悪化を考慮し、温暖化の原因の一つとされるCO2排出削減に取り組む。まず、会社が行う事業により排出されるCO2を削減する活動の習慣化と資源コスト削減による自然への負荷低減を目指し、さらに従業員個々の生活にその意識を広げる努力をしていく。

制定日：2010年3月 1日

改定日：2015年3月18日

代表取締役社長

森本孝之

## 2.環境保全への行動指針

- 1) 次のことに取組み、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努める。
  - ① 無駄を見直し、資材と水道の使用量を節約する(省資源と節水)
  - ② CO2排出削減のため、省エネルギーに積極的に取り組む。
  - ③ 廃棄物の削減。
  - ④ PRTR法に定められた有機溶剤等の材料使用をしない。
  - ⑤ 環境に配慮した資材・用品の購入を推進する(グリーン購入の推進)。
  - ⑥ ①②③⑤意識を生活の場へ持ち帰らせる。
- 2) 環境関連法規制や当社が約束したことを順守する。
- 3) 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表する。

### 3.組織の概要

1) 事業所名

株式会社 新生 Shinsei Co,ltd. (2016年12月1日社名変更)

2) 代表社名

森本 孝之

3) 所在地

■ 本社・工場

〒733-0833 広島県広島市西区商工センター7丁目5番26号

TEL:082-277-0788(代) FAX:082-278-3880

■ 東京支店

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20番15号箱先KYビル4F

TEL:03-3668-6551 FAX:03-3668-6552

4) 環境管理責任者

湯川 真 (連絡先 : 090-4140-0359)

3) 設立

昭和28年(1953)年4月

4) 資本金

10,000千円

5) 役員

代表取締役 森本 孝之

専務取締役 湯川 真

常務取締役総務部長 岩田 真規子

6) 事業内容

■ 印刷及び関連サービス

事務処理用伝票、連続伝票、各種フォーマットへのデータプリント、レコード  
データ処理、各種バーコード作成・プリント、オンデマンドプリント、圧着ハ  
ガキシーリング、封入封緘

7) 従業員数

46名(2017年1月現在)

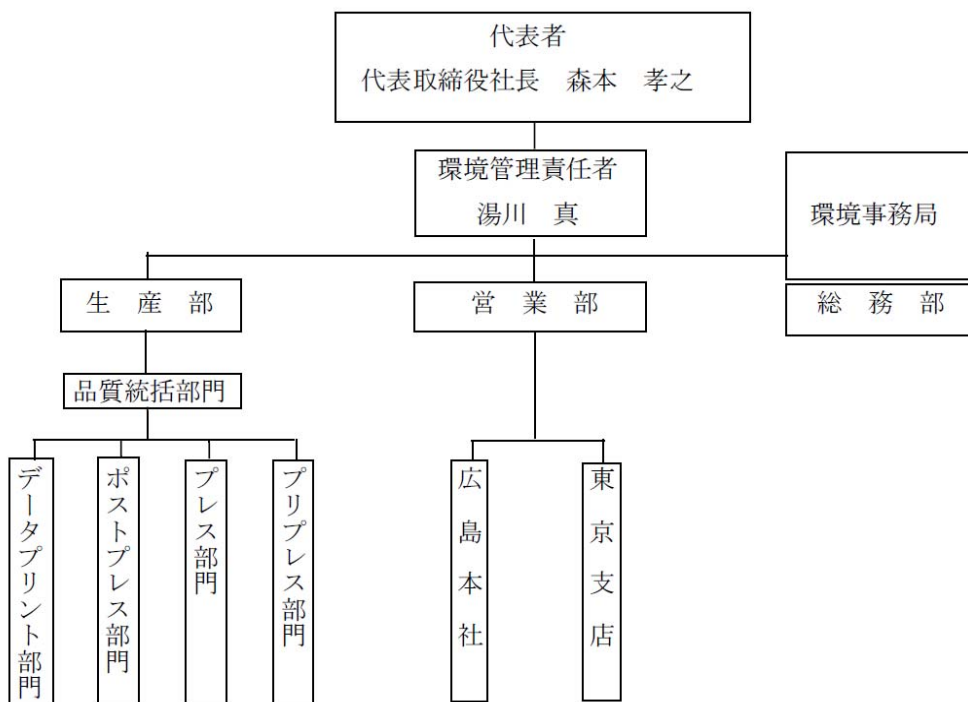
8) 売上高

5億7千万円(2017年1月現在)

9) 延べ床面積

1,421.85㎡

10) エコアクション21組織図と実施体制



部門と担当	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用の用意</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し</li> <li>環境目標の設定を承認</li> <li>環境活動全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動計画書を承認</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、管理、運営</li> <li>法規制等の要求事項登録簿を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの作成</li> <li>環境負荷の自己チェックの実施</li> <li>従業員に対する教育訓練の実施</li> </ul>
環境事務局 (総務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境関連法規リスト」の作成</li> <li>環境活動計画の実績集計</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
生産部 営業部 (各部長) 総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応・訓練・記録</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針を理解し環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守りつつ、自主的・積極的に環境活動へ参加、自身の生活環境への取り組み</li> </ul>

## 4.環境目標と実績

### 1) 環境目標

2013年度を基準とし、CO2排出量と水道の使用量、廃棄物の排出量を、原単位で前年比1%削減を計画します

※環境活動の目標設定と測定値記載を2016年度より改めました。そのため2013年度を基準年に置き2015、2016年度の数値を表示しています。

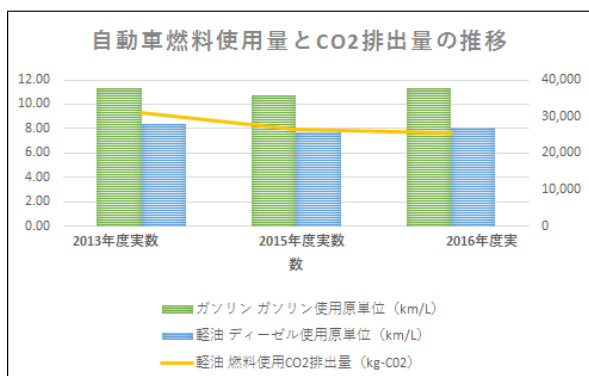
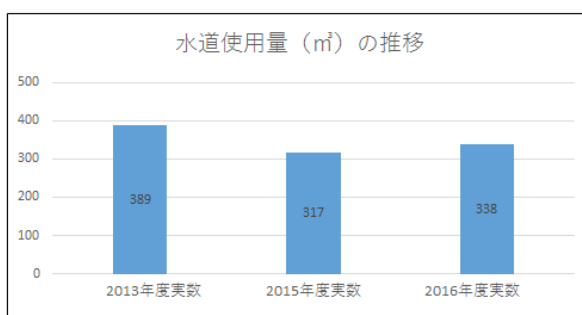
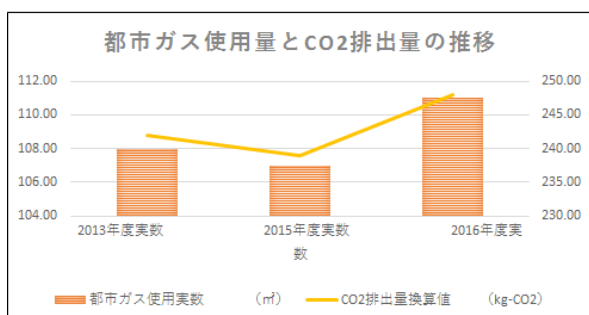
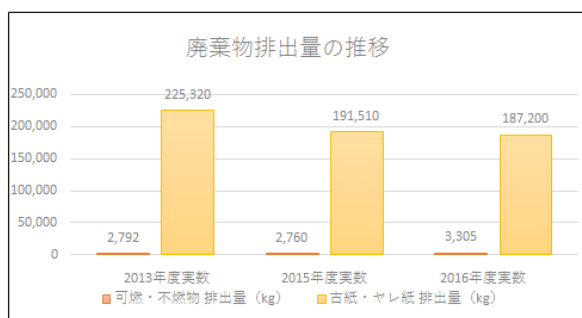
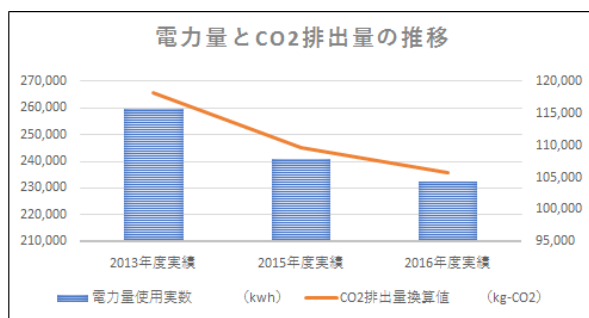
		2013年度実績	2015年度実績	2016年度実績	2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標	
電力	電力量使用実数 (kwh)	259,725	240,995	232,596	230,270	227,967	225,688	223,431	
	CO2排出量換算値 (kg-CO2)	118,110	109,560	105,760	104,710	103,663	102,626	101,600	
	電気使用原単位 (kwh/≒労働時間)	2.72	2.73	2.50	2.48	2.46	2.44	2.42	
都市ガス	都市ガス使用実数 (㎡)	108.00	107.00	111.00	109.89	108.79	107.70	106.62	
	CO2排出量換算値 (kg-CO2)	242.00	239.00	248.00	241.27	238.86	236.47	234.11	
	ガス使用原単位 (㎡/1000労働時間)	1.13	1.21	1.20	1.19	1.18	1.17	1.16	
自動車燃料	ガソリン	ガソリン使用原単位 (km/L)	11.30	10.70	11.29	11.40	11.29	11.18	11.07
	軽油	ディーゼル使用原単位 (km/L)	8.40	7.72	8.06	8.14	8.06	7.98	7.90
		燃料使用CO2排出量 (kg-CO2)	31,085	26,487	25,574	25,420	25,116	24,914	24,665
廃棄物	可燃・不燃物	排出量 (kg)	2,792	2,760	3,305	3,272	3,239	3,207	3,175
	古紙・ヤレ紙	排出量 (kg)	225,320	191,510	187,200	185,328	183,475	181,640	179,824
	古紙リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100	100
水道	水道使用量 (㎡)	389	317	338	335	332	328	325	
	水道使用量原単位 (㎡/1000労働時間)	4.07	3.58	3.64	3.60	3.56	3.52	3.48	
CO2総排出量 (kg-CO2)		149,437	136,286	131,584	130,370	129,066	127,776	126,498	

〈 購入電力の二酸化炭素排出係数（2013年度の係数を基準とする） 〉

広島本社：(株)エネット 0.454g-co2/kWh

東京支店：東京電力(株) 0.505kg-co2/kWh

## ■ 環境活動年度実績の推移グラフ



## ■ アスクルグリーン購入 (2016年度)

2016年2月から2017年1月末までに社内で使用する事務用品、生活用品は“アスクル株式会社”の“グリーン商品リスト掲載品”より購入した。品目はトイレトーパー、糊、セロテープなど24品目だった。この“グリーン商品リスト掲載品”は「グリーン購入法」「エコマーク」「GPNエコ商品ねっと」のいずれかに該当する商品。



## 5. 社内での環境に関するニュース

- 2009年 10月 社長によるエコアクション21取り組みの決定
- 2010年 3月 環境方針の策定
- 10月 電力使用モニターデマンド監視システムの導入
- 2011年 1月 エコアクション21 認証取得
- 2012年 3月 ひろしまエコ事業所 認定
- 10月 有機溶剤使用に関連し健康診断 年2回の実施を始める
- 12月 外壁の熱遮断塗料仕上げ工事施工
- 2013年 1月 2F LED照明取替え工事施工
- 2月 1Fコンプレッサーを集約し新設
- 2014年 6月 工場内ウォーターサーバー(給水器)設置
- 7~11月 トライ・ザ・セーフティーひろしま2014参加  
無事故無違反達成 (5人1チーム 無事故無違反150日にチャレンジ)
- 12月 1F自動販売機を2台から1台に集約
- 2015年 2月 1F営業部・品質統括部門2台のエアコンを1台に集約入替
- 3月 環境方針の改定
- 4月 社内及び外部倉庫の整理整頓(自発的にスタート)
- 6月 産業廃棄物の表示版の設置
- 7月 1F枚葉印刷機操作場所のエアコンを増設、容積に対し不足分を補填
- 11月 電力使用モニターデマンド監視システムの更新
- 12月 封入封緘機導入
- 2016年 3月 2Fエアコンの入替
- 6月 1F工場主要部エアコン入替
- 2017年 1月 印刷機械のオーバーホール

## 6. 環境活動計画の取組み結果及び次年度の取組み

### 1) これまでの環境活動の取組み内容と結果及び次年度の取組み

取組み内容	取組み結果	2017年度の取組み
<b>◆エネルギー使用量の節約</b>		
6月7日に「日本テクノ」を招いて電気使用量の勉強会を「視視、空調機と換気扇の時差稼働や空調機立上時の段階的な温度調整などを学んだ	【電気年間使用量】 2015年 2016年 240,995kw ⇒ 232,596kw	・残業時間の削減 作業時間内設備停止時間を減らし電気使用時間を減らす
・コーチング…新人への技術継承で後進を育成し生産力の維持を図る ・トレーニング…多能工、複数部署での稼働能力を身に付ける ・工数統一化…進行中。手順を同じにして動作基準を作った	・丁合、バスター習得者各1名  ・F2 ⇔ T1 T1 ⇔ T3の対応が可能になった ・社内モノサシの完成	・設備止時間(作業・仕様確認等)の削減 オペレーター、営業間コミュニケーションを増やす ・生産部、営業部間の工数認識の一定化を進め営業から生産部の生産性を高める
可能な範囲で節水を継続	【水道水年間使用量】 2015年 2016年 317㎡ → 338㎡	現状の取組みを継続する
(営業部) ・メール、FAXの効果的な利用 ・営業活動(訪問する方向)の計画化 ・ふんわりアクセルなど	【燃料使用量】 2015年 2016年 (ガソリン) 8,919L → 8,097L (軽油) 2,236L → 2,659L ※配送車利用に移行しているのが分かる	現状を継続する ・メール、FAXの効果的な利用 ・営業活動(訪問する方向)の計画化 ・ふんわりアクセルなど
・ガスは昼食時にお湯を沸かすためのみに使用のため使用節約に努める	【都市ガス使用量】 2015年 2016年 107㎡/N → 111㎡/N	・ガスは昼食時にお湯を沸かすためのみに使用のため使用節約に努める現状を維持する
<b>◆資材の無駄見直しと省資源化を目指す操業</b>		
柔軟な生産体制を作りボトルネックとなる部分の工程を動かせるようにする 半製品の量を抑える工程組を行う	【古紙(産業廃棄物)排出量】 2015年 2016年 191,510kg → 187,200kg	発生した古紙を使用した商品開発への取り組みを行う
<b>◆廃棄物の削減</b>		
預かり製品や材料予備で今後使用しないものを処理、不良在庫の保管として費やしていたスペース棚卸し形状で長い間手付かずになっていた部分を整理、また古くから使っていた整理棚、机等工場改装に合わせて整理、有効利用できるスペースを増やし外部倉庫料を減らす方向に取組んだ	年度途中、木製パレットの処理方法が変わったため、拝領が急増した 【可+不燃ごみ排出量】 2015年 2016年 2,760kg → 3,305kg	・廃棄物排出量が多い工程での準備に使用する材料の使用量の削減の方法を検討する ・木製パレットの処理方法を検討する
<b>◆環境に配慮した資材等の購入</b>		
エコマークなど説明の社内掲示を行い家庭へエコ購入を持ち帰る意識を促す	【グリーン購入品目数】 2015年 2016年 23品目 → 28品目	家庭でのグリーン購入を促進する社内呼びかけをする
<b>◆自らが生産・販売・提供する製品サービスの推進</b>		
省エネタイププリンターの導入を計画する	2016年9月 高効率のプリンターを導入	発生する古紙を使用した商品開発への取り組みを行う
<b>◆その他の取組み</b>		
有機溶剤保管場所へ換気扇を設置を計画する健康へリスクある成分を含む洗浄剤を他の安全性の高いものに変更	有機溶剤保管場所の低い位置へ換気扇設置トリチルベンゼンを数%含む「プレートリゲイン」「オチール」「ミネラルスピリット」を「プレートクリーナー・エコ」「ニューソルDXハイソフト」「オレンジマルチクリーナー」に変更した	有機溶剤について作業主任者の資格者を増員させる

## 2) 環境責任者の感想

2016年12月、2017年1月頃になって月で行っている

歩留りミーティングに参加する人の熱が高まっているように感じる。ゴミの排出量だったり仕入れ量云々で始まった時に比べ目的がそれぞれ明確になっきたのではないかと思った。働いている時間内に発生する「ムダナモノ」を無くすことによって「リエキ」を作ることが出来るかもしれないと感じてきているのかもしれない。

方法は特定しなくても材料や時間やクレームを「モンカシテコウスレバ」「コウナルカモシレナイ」と作り上げていく姿勢に自ら変わり始めたようで自社の事ながら誇らしい。エネルギーの使用量や廃棄物の量は増えたり減ったりするけれど取組む姿勢が出来ることこそ一番重要なことだと思っている。

# 7.環境関連法規などの順守状況の確認及評価の結果 ならびに違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反などの指摘は、過去3年間ありません。

また外部からの環境に関する苦情等もありません。

## 環境関連法規規制等

法令および規制等の名称	該当する設備・項目・対応状況等												
<p style="text-align: center;">環境基本法 ↓ 循環型社会形成推進基本法 /循環型社会形成推進基本計画</p> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>↓</span> <span>↓</span> </p> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>廃棄物の処理及び 清掃に関する法律</span> <span>資源の有効な利用の 促進に関する法律</span> </p>	廃棄物収集業者の許可証の確認 (許可書・登録証の写し保管)												
	紙(古江商会回収[有価物として])												
	生ゴミ・廃プラなど (分別後、組合へ持ち込み→ISC回収)												
	管理表(マニフェスト)の交付(AB2,D,E)												
	廃アルカリ (アサヒブリック)												
	委託契約書												
紙・アルミ・鉄・その他 有価物: 古江商会 産業廃棄物(再生出来ないもの): 山口産業㈱													
廃プラスチック 有価物: 網リユース													
保管基準	掲示板(60cm×60cm以上)の設置 飛散、浸透防止 衛生管理												
騒音規制法	特定施設: 印刷機(原動機を用いたもの) コンプレッサー (定格出力3.75kW以上、7.5kW未満) ⇒ 広島県生活環境の保全等に関する条例 (定格出力7.5kW以上) ⇒ 騒音規制法 ※該当施設別紙参照												
振動規制法	特定施設: 印刷機 (定格出力2.2kW以上) コンプレッサー (定格出力7.5kW以上) ※ 該当施設別紙参照												
下水道法													
水質汚濁防止法	特定施設: 自動式フィルム現像洗浄施設(GTP自動現像機) 自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設(樹脂版プリンタ)												
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	・点検・整備記録簿の作成(機器毎) ・簡易点検の実施 (3ヶ月毎) 記録と保存が必要 従業員で対応可能 ・定期点検の実施 記録と保存が必要 専門知識が必要												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>製品区分</th> <th>圧縮機の定格出力</th> <th>点検頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷蔵庫及び冷凍機器</td> <td>7.5kW以上</td> <td>1回/年以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50kW以上</td> <td>1回/年以上</td> </tr> <tr> <td>エアコンディショナー</td> <td>7.5kW以上、50kW未満</td> <td>1回/3年以上</td> </tr> </tbody> </table>	製品区分	圧縮機の定格出力	点検頻度	冷蔵庫及び冷凍機器	7.5kW以上	1回/年以上		50kW以上	1回/年以上	エアコンディショナー	7.5kW以上、50kW未満	1回/3年以上
製品区分	圧縮機の定格出力	点検頻度											
冷蔵庫及び冷凍機器	7.5kW以上	1回/年以上											
	50kW以上	1回/年以上											
エアコンディショナー	7.5kW以上、50kW未満	1回/3年以上											
	・充填証明書・回収証明書の受領と保管 ・漏れい量がCO2換算で1000t/年以上となった場合、報告義務あり。 ・機器設置場所への配慮義務あり												
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則 第19条の2 有機溶剤作業主任者の職務 作業方法決定及び労働者の指揮・排気、換気装置の点検・保護具の使用状況監視												
	安全衛生推進者の選任/労働者に周知するための氏名掲示												
	はい作業主任者の選任/労働者に周知するための氏名掲示												
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	リサイクル料の支払い												
使用済み自動車の再資源化に関する法律 (自動車リサイクル法)	費用(再資源化等預託金)の負担												
道路交通法	安全運転管理者等の選任/安全運転管理者等の届出												
道路運送車両法	自動車の構造・装置・乗車定員及び最大積載量の順守												
道路法	遵守												

## 8. 業界の動向

広島県印刷工業組合における環境対策としては以下のことに取り組んでいます。

- 環境関連情報の収集と提供
- ISO14001取得支援事業の推進
- グリーンプリンティング認定制度の推進
- 環境関係セミナーの開催
- ユニバーサルデザインの推進
- CSRへの取り組み
- ダイバーシティ経営の推進
- 業態変革への取り組み(ソリューションプロバイダーへのステップアップ)

### ■ 紙・板紙内需

単位:千トン	12年	13年	14年	15年	16年予
新聞用紙	3,305	3,247	3,181	3,033	2,929
印刷・情報用紙	9,676	9,531	9,231	8,885	8,669
包装用紙	776	761	766	729	716
衛生用紙	1,880	1,895	1,945	1,941	2,010
その他紙	744	728	758	748	733
紙計	16,380	16,162	15,880	15,337	15,056
ダンボール原紙	8,684	8,788	8,877	8,884	9,016
紙器用板紙	2,031	2,046	2,004	1,983	1,999
その他板紙	651	669	674	651	647
板紙計	11,366	11,503	11,555	11,518	11,662
紙・板紙計	27,746	27,665	27,434	26,855	26,718

## 9.代表者による全体評価と見直し結果

生産性の改善について全ての仕事において、今までもこれからも一発勝負で終わるものではないと思っている。初めから終わりまでトータルで考えてミスやクレームが起らない、顧客の信頼を裏切らないやり方を優先していく。社内エネルギーの使用については昨年エアコンの入替が終わった。数年かけて少しずつ行ってきたLED照明への取替も1Fの倉庫と工場部分のみになった。LED照明の取り替えはエネルギー消費が少なくてすむだけでなくメンテナンスの費用も減って非常によいといえる。残る部分も計画的に進めていくよう指示する。また昨年から導入を進める封入封緘などの設備導入や受注体制は省資源化を目指す当社の取組みであると同時に会社の質やイメージを上げることが出来よかったと思う。何もしなければ何も変わらないとは楽だけれど未来が無いということになる。一歩踏み込んで行ったのは良かったと思う。同じ事をし続けて仕事も会社の質も働く者も変わらないままでは死んでいくのを待っているようなもの、そうならないようにこれからも新しいことに挑戦するようにしていきたい。